

JUN 2012

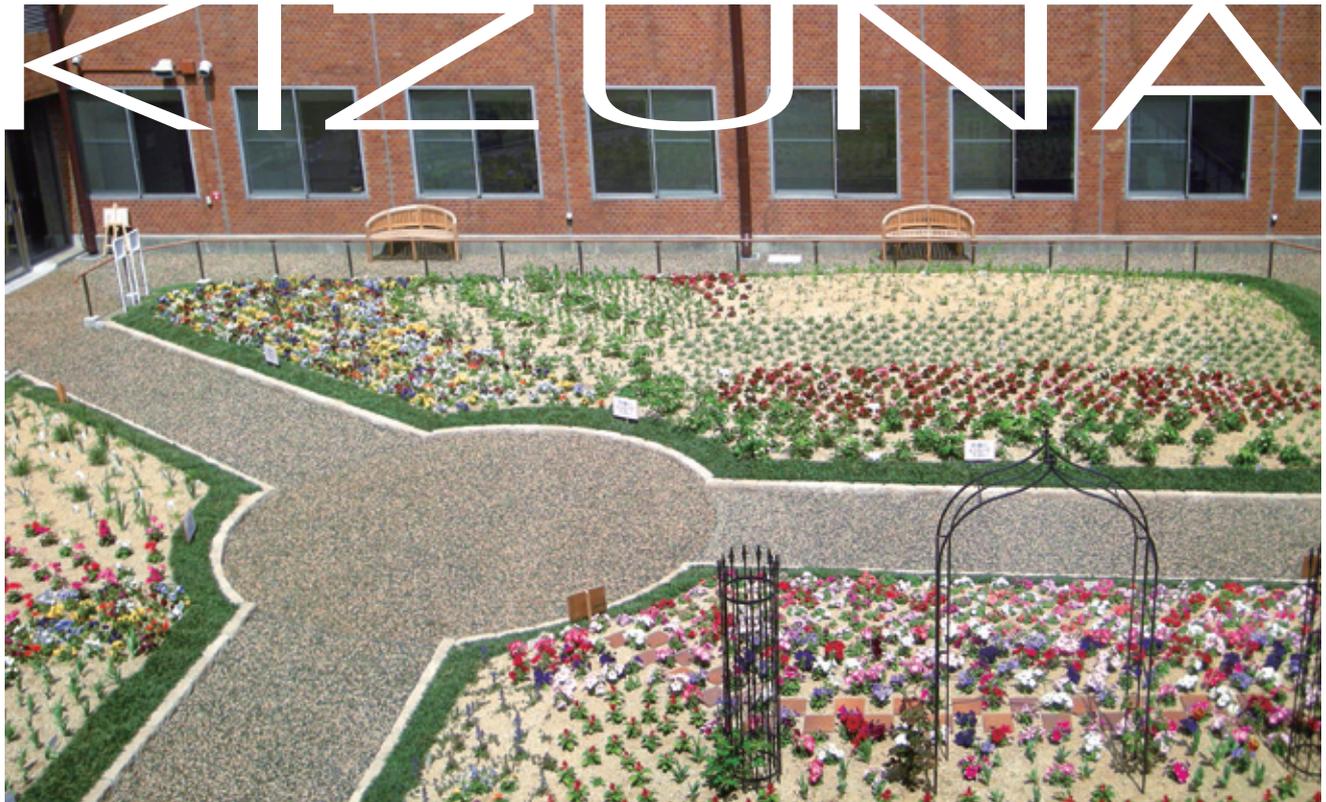
Vol.

8

KIZUNA.8

近畿大学医学部 附属病院 広報誌

きずな



理念

患者本位の開かれた病院として、
安全で質の高い先進医療を提供します。

基本方針

1. 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
2. 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
3. 南大阪における基幹病院として地域医療に貢献します。
4. 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。

発刊にあたって

近畿大学医学部附属病院 病院長 工藤 正俊

近畿大学医学部附属病院広報誌「きずな」第八号をお届けいたします。

昨年「2011年の言葉」として国民から圧倒的に支持されて選ばれた言葉が「絆」であり森清範貫主によって清水寺で縦150cm、横130cmの大きな和紙に見事に大書され話題になりました。昨年3月の東日本大震災を機に見直された人と人とのつながりの大切さを思う気持ちからきたものと思われそうですが、奇しくも我々が従来発刊してまいりました広報誌「きずな」と同じ言葉でありました。これまでも、そして今後も近畿大学医学部附属病院は地域住民の皆さまとの「きずな」を大事にして高度先進医療・救急医療を推進してゆきたいと考えております。本号でも院内の様々な部署・活動を紹介しておりますので参考にしていただければと思います。

この冊子が、皆さまのお役に立てることを祈念致しまして、第八号のご挨拶とさせていただきます。



C o n t e n t s

発刊にあたって	P.01
最新情報	P.02
各診療科の紹介（呼吸器・アレルギー内科）	P.04
各診療科の紹介（眼科）	P.05
基礎系教室の紹介（病理学）	P.06
中央臨床検査部だより （中央超音波診断・治療室）	P.07
治験管理センターだより	P.08
栄養部だより〈栄養食事指導〉	P.09
安全管理部・医療安全対策室だより	P.10
看護部だより	P.11
ほいくだより	P.13
特集「院内保育園の紹介」	P.15
大阪狭山市の名所めぐり〈大野ぶどう〉	P.16
近畿大学医学部附属病院と大阪狭山市	P.17
中庭のユーティリティスペース	P.18
卒業生の今	P.19
さやま検定	P.20
患者さま相談窓口／医療・福祉相談室	P.21
各診療科のご案内	P.22

《受診される皆さまの権利》

近畿大学医学部附属病院では受診される皆さまが以下に掲げる権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利
2. 病院全機能をあげて最善で安全な医療を受ける権利
3. 自らの心身の状態を理解するために当院から必要な情報を得る権利
4. 当院から必要十分な情報の説明を得た上で、自己の自由な意志に基づいて医療行為を決定する権利
5. プライバシーの保護を受ける権利
6. 必要に応じ、医療費用の内容に関する情報を受ける権利

《臨床倫理》

1. 医療を受ける人々の権利を最大限尊重するとともに、医療を受ける人々の最善の利益を追求する医療を提供する。
2. 医療を受ける人々の信条や価値観に十分配慮する。
3. 医療内容、治療の選択について詳しく説明し、医療を受ける人々の自由な意思に基づいて医療行為を決定する権利を尊重する。
4. 倫理的問題を含むと考えられる医療行為については、法令やガイドラインを遵守するとともに、院内において十分審議検討を行う。

最新情報

初老期認知症の見分け方

認知症とは、同じことを言ったり聞いたりする「記憶障害」に加えて、今がいつなのか、ここはどこなのかわからなくなる「見当識障害」、真夏でもセーターを着てしまう「判断力低下」などが同時にみられる状態を指します。初老期認知症は65歳までに発症した認知症で、原因としてはアルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、前頭

側頭型認知症（ピック病）、正常圧水頭症、ホルモンやビタミンの欠乏症、感染症などがあります。初期にみられる症状は原因によって異なりますが、チェックリストの項目にころ当たりがあれば一度検査をおすすめします。

（文責：花田 一志）

思いあたること、ありませんか？

以下は、認知症の始まりではないかと思われる言動を「認知症の人と家族の会」の会員の経験からまとめたものです。

個人差もありますが、日常の暮らしの中で以下のいくつか思いあたることがあれば、最寄りのお医者さんや地域包括支援センターに相談しましょう。

“家族がつくった” 認知症・早期発見のめやす

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増えいつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた



判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった



不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える



時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をすることも億劫がり、いやがる



もの忘れ気になりませんか？ PET 検査で認知症を早期診断！

超高齢社会に突入した現在社会では認知症が大きな問題となっています。認知症の早期発見に、がんの早期発見などに使われている放射線を出すブドウ糖（FDG）を使った PET 検査が大きな力を発揮するのはご存じでしょうか。アルツハイマー病では脳の特定の部位でブドウ糖代謝が低下します。それを FDG-PET 検査で見つけることができます（図1）。この脳の FDG-PET 検査は認知症に対しては残念ながらまだ保険適応になっていませんので、当大学病院では自由診療で検査を受けることができるように設定しま

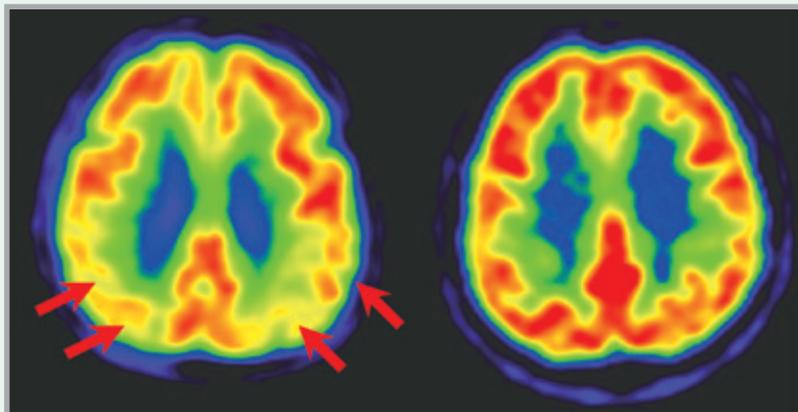
した（脳 FDG-PET 検査料：48,300円）。この FDG-PET 検査をご希望の方はかかりつけ医の先生から地域連携室を通してご紹介してもらって下さい。また、当大学では研究として脳 FDG-PET を受けていただいた方にアルツハイマー病の原因となっているアミロイド蛋白の沈着をみるアミロイドイメージングの PET 検査を研究として行っています（図2）。脳 FDG-PET を受けていただいた方はぜひ、この研究に参加（検査料無料）していただければと思います。

（文責：石井 一成）

アルツハイマー病

健常高齢者

図1



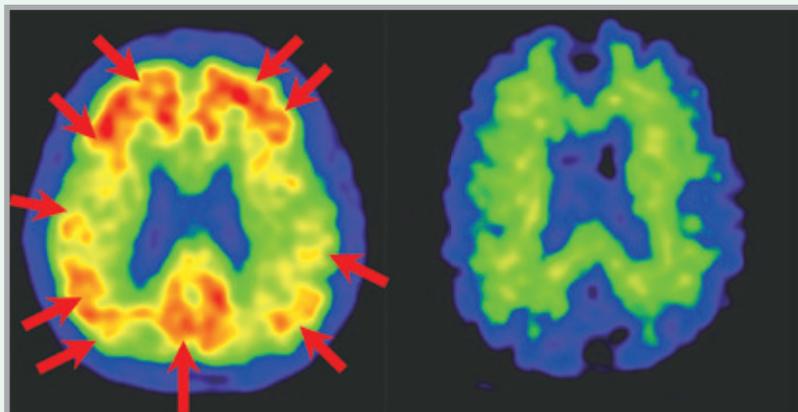
左：アルツハイマー病患者の FDG-PET による脳の横断面。矢印の部分（黄色になっている部分）でブドウ糖代謝が低下している。

右：健常高齢者の FDG-PET による脳の横断面。ブドウ糖代謝の低下はない。

アルツハイマー病

健常高齢者

図2



左：アルツハイマー病患者のアミロイド-PET による脳の横断面。矢印の部分のように黄色から赤くなっているところがアミロイドが沈着している部分。アルツハイマー病では症状がでる何年も前からすでにアミロイドが沈着している。

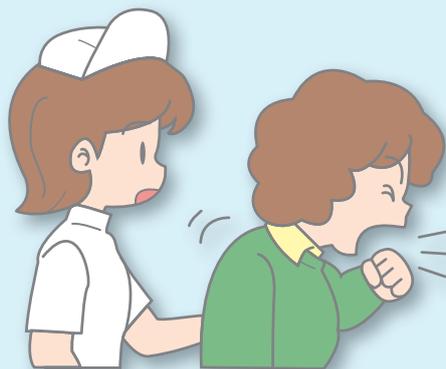
右：健常高齢者のアミロイド-PET による脳の横断面。アミロイドの沈着はみられない。

呼吸器・アレルギー内科

呼吸器・アレルギー内科部門は気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、呼吸器感染症、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全などの「咳、痰、息切れ」を訴える呼吸器疾患と蜂アレルギーなどアナフィラキシーに対する減感作療法を中心に診療を行っています。スタッフは内科専門医・認定医はもとより、呼吸器専門医、アレルギー専門医、気管支鏡専門医、感染症専門医を取得して

おり、上記疾患の診断、治療を先進的に行っています。特に気管支喘息は西日本一の患者数を有し、標準的治療の他に、難治症例には新規生物製剤による種々の治療や臨床試験を行っています。また、難病である間質性肺炎につきましても新規治療薬の開発を目指して多くの治験薬、臨床試験を実施していますのでご相談くださいませ。

(文責：佐野 博幸)



眼科

当科は、角膜、白内障、網膜硝子体、ぶどう膜、緑内障、神経眼科、斜視弱視などすべての眼科疾患に対し、それぞれの分野に精通した専門医による最新の医療技術で診療に臨んでいます。角膜疾患では、最新の角膜移植技術を導入しており、難治症例では我が国で唯一、歯根部人工角膜移植手術を行っております。また、視野検査をはじめとする視機能検査の分野では、世界でも最先端

の技術を備え、各種疾患の早期診断、経過観察に役立てております。未熟児網膜症など小児の網膜疾患の硝子体手術にも積極的に取り組んでおります。小児から高齢者までのあらゆる眼科疾患に対し、幅広く適切に対応いたしますので、安心して受診していただければと思います。

(文責：松本 長太)

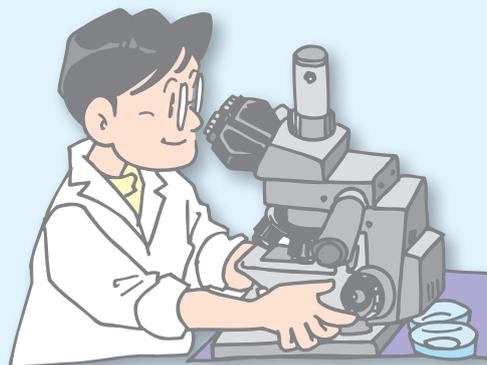


病理学

人は病気に罹ると、それぞれの病気に特徴的な“病変”が体の中に出来ます。近畿大学医学部附属病院では多種多様な“病変”が日々採取されていますが、当病理学教室では、それらの“病変”を全て顕微鏡で観察しています。その顕鏡所見に基づいて、その人がどんな病気に罹ったのかを診断（病理診断）するとともに、病状の進行具合や治療効果を客観的に評価するという責務を果たしています。

さらに、“病変”を構成する細胞やその細胞における遺伝子発現や蛋白発現を詳細に調べる実験を行っています。この実験の成果は、病気の発生病因の解明や病気に固有の諸症状の発生病序の解明へと発展するものと期待しています。当教室で特に力を入れている病気は、がんの浸潤・転移、ストレス関連疾患（アトピー性皮膚炎、過敏性腸症候群、気管支喘息など）、脳外傷です。

（文責：伊藤 彰彦）



中央臨床検査部だより (中央超音波診断・治療室)

中央臨床検査部では腹部・一般超音波室（病院棟2階）が平成23年10月に中央超音波診断・治療室として病院棟1階に移転されました。新しい検査室の特徴は一般の超音波検査6ブースと超音波ガイド下治療室2ブースが独立しています。検査室の新しい取り組みとして患者さまにより安全に、より負担なく検査を受けていただけるように、イメージコンセプト『安らぎのブルー』に合わせて配色し、一回り大きな超音波検査室としてオープンしました。 (文責：前川 清)



①病院棟1階の中央超音波診断・治療室の受付は病院棟2階正面玄関・総合受付よりエスカレーターを降りて中央放射線部CT・MRI受付の廊下を左に進むと治験管理センター、中央超音波診断・治療室の待合があります。



②超音波検査室は6ブースあります。腹部領域および甲状腺や表在の検査を行ないます。また、造影超音波検査専用のブースもできました。



③超音波造影検査に用いる最新鋭超音波装置でCT・MRI装置で撮影した画像を用いて超音波画像に任意の対象物を表示することが可能で造影剤アレルギーを起こさない超音波造影剤を用いて肝腫瘍の確定診断やがんの治療計画・経過観察を行なっています。



④検査室で使用する超音波装置はすべてDICOMによるオンライン化がされていて直接電子カルテに転送されます。撮像から結果報告までが迅速化され、待ち時間の短縮をはかっています。



⑤超音波ガイド下治療室は肝臓の組織検査（針生検）や肝臓にできた悪性腫瘍にラジオ波焼灼治療を行ないます。CT・MRIの撮影画像を超音波装置内に取り込み、治療対象を超音波画像上に表示するナビゲーションシステムを組み込んだ最新鋭の超音波装置を使用しています。

■ 治験管理センターだより

治験は新しい薬や新しい治療方法についての効果や安全性を確認して国の承認を得ることを目的に実施される臨床試験です。治験に参加することは、参加した患者さまへの治療のみならず、新薬や新治療方法を誕生させることによって、将来、より多くの患者さまが新しい治療を受けられることにつながると期待されます。当院では、皆さまに新しい薬や新しい治療方法が早く提供されるように、多くの診療科で治験に取り組んでいます。この治験のサポートを担っているのが治験管理センターです。

治験管理センターは、治験コーディネーター、データマネージャー、治験薬管理者、治験事務局員、治験システムオペレータなど治験に関する専門的な知識をもった総勢40名余りのスタッフで構成されています。

薬剤師、看護師、臨床検査技師などの医療資格をもった治験コーディネーターが、試験をより理解していただけるように補助説明を行い、来院のスケジュール調整、また相談窓口となり、患者さまが安心して治験に参加していただけるよう努めています。
(文責：野村 守弘)



■ 栄養部だより 〈栄養食事指導〉

食生活が豊かになり、飽食の時代といわれています。メタボリックシンドロームで体に栄養をたっぷりため込んだ方がいらっしゃる一方で、高齢者ではサルコペニアといわれる骨格筋の質と量が減少する状態となり、栄養状態が低下し治療の妨げになることもあります。

栄養は適切な量と質を取らなければなりません。

管理栄養士が患者さまの栄養管理のお手伝いをいたします。

栄養食事相談のお知らせ



- 外来受診されているみなさま、
- 病気の治療で食事が気になられる患者さま、
- 以前に食事の話を知りたけれど忘れてたなあ・・・と思われる患者さま・・・

ご安心ください！食事・栄養のことなら、管理栄養士が栄養食事相談をうけたまわっております。

ご希望の患者さまは、ご担当の先生にご相談の上予約をおとりください。

近畿大学医学部附属病院 栄養部



- 糖尿病で摂取エネルギーの適正化が必要
- 腎臓病でタンパク制限と塩分を減らすことが必要
- 高血圧、心疾患で塩分を減らすことが必要
- 脂質異常症があり、摂取エネルギー適正化とコレステロール減量が必要
- 子供のアレルギーで食事内容を相談したい。
- 化学療法中で口内炎や吐気で食事が食べられない。
- 胃や大腸の手術後の食事の進め方・・・
- 肝臓病で鉄制限が必要、必要な栄養素は??

などなど・・・食事、栄養管理について管理栄養士が栄養食事相談を行っています。

お食事の事でお困りのことや、治療上必要な食事療法について、入院中の方は主治医の先生の依頼により、病棟にて予約制で30分程度栄養相談をいたします。

外来の方は、月曜から土曜9時～15時まで、外来栄養相談室にて個人栄養指導を実施中です。

また、毎月1回、外来集団糖尿病教室を開催しております。代謝内科受付付近にご案内を掲示しています。

患者さまと、無理なく楽しく、健康を維持する食事療法ができるように一緒に考えていきたいと思っております。

(文責：梶原 克美)

3月3日 おひなさまの特別献立を実施しました

常食B 1600kcal



糖尿食



減塩食



みんな1600kcal/日の献立です！ こどものおやつは・・・



安全管理部・医療安全対策室だより

患者さまが安心して治療を受けていただけるように、安全で質の高い医療を提供することは、近畿大学医学部附属病院にとって最も重要な課題です。近畿大学医学部安全管理部は医療安全対策室・感染対策室・個人情報対策室・褥創対策室から構成されております。「安全管理部・医療安全対策室」は、それぞれの部門と連携し、医療安全対策の充実、院内の診療レベルの向上のために活動しています。活動内容としては、

- 医療安全を推進するための組織として「安全管理委員会」、「リスクマネジメント会議」を開催し、院内の医療安全対策を検討するとともに、医療安全に対する認識を病院全職員で共有しようと考えています。
- 医療事故を防止するため、事故事例やミスがあったが事故には至らなかった事例の報告内容を検討・分析して医療安全対策に反映させています。
- 医療安全対策チーム会を設置し、院内各部署のスタッフに医療安全の知識を周知するとともに、監査チームによる院内監査を実施しています。
- 病院職員を対象に、医療安全に関する研修会や講習会を開催し、医療スタッフの医療安全意識・技術の向上に努めています。(写真は月1回定期的に行っている医療安全対策チーム会での研修風景です。)

- 医療安全に関する情報を収集し、この情報をホームページ等を通じて関係する部署に提供し、職員の安全意識の啓発をしています。

医療安全対策室の、次の試みとして、患者さまにお願いしたいことがあります。

私たちの医療安全チームの一員として、医療安全活動に参加していただける医療安全パートナーを募りたいと考えています。

医療現場では、日々の業務内容は複雑でありかつ不確実な要素が多いため、細心の対策を講じていても、私たちの注意だけでは限界があるのが事実です。

そこで、安全な医療を提供するために、患者さまやご家族の皆さまに医療安全推進活動のメンバーの一員として参加していただき、その重要性和必要性を共感していただき、ともに手をたずさえて、最善の医療を提供できる環境づくりを皆さまと一緒に進めていきたいと考えております。

近日、院内に「医療安全パートナー募集」のお知らせを掲示させていただきますので、その際は是非ご協力のほどお願い申し上げます。

さらに、当院の医療安全について、ご意見、ご希望がありましたら、「あなたのひとこと」という患者さまの意見を頂戴するボックスを設置しておりますので、是非、忌憚のない御意見をお願い致します。(文責：大磯 直毅)



■ 看護部だより

看護師は、各科病棟、救命救急センター、手術室、各科外来、救急災害センター、中央放射線部、通院治療センター、透析室、光学治療センターにおいて、患者さまによりよい看護の提供に努めております。

今回は、50病棟を紹介いたします。



病棟の紹介 50病棟

50病棟は、40床（婦人科25床、内分泌・代謝・糖尿病内科15床）で、女性のみの病棟です。看護スタッフメンバーは、看護師22名、診療補助員4名、病棟クラーク2名の28名です。

50病棟では、日々変化していく化学療法や糖尿病治療に関する新しい治療を患者さまにより安全に安心して受けていただくためにスタッフ一同、自己研鑽しながら、活動しております。

<看護長からの一言>

看護者として、スタッフや患者さま、ご家族の方と話しあいをしながら一人一人の「その人らしさとは何か」ということを、常に探求し大切

に思いながら、看護を提供する毎日です。

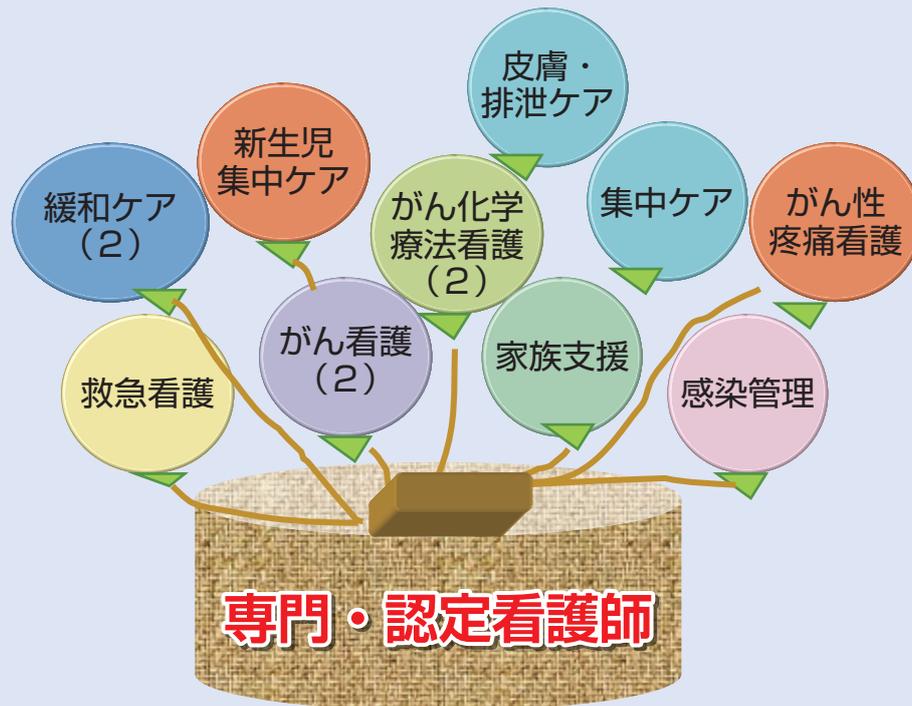
（文責：松本 雅子）



■ 看護部だより

当院には、スペシャリストナース（専門看護師）3名、
エキスパートナース（認定看護師）10名が
それぞれの分野の役割を果たすべく日々活動しております。

今回は、がん看護専門看護師を紹介いたします。



がん看護専門看護師の紹介

がん看護に携わるようになり10年以上が経過しました。現在は放射線治療部で勤務しています。放射線治療部では、医師、看護師、放射線技師、医学物理士、事務補助員などが協力して治療を受けるがん患者さまとご家族を支えています。

放射線治療は手術と並ぶ局所療法で、患部を切除せずに治療するため身体的な負担が少なく身体の形態や機能を失わないことが大きな特徴です。そのため、小児から高齢者と対象年齢層が広く、また根治から症状緩和まで治療適応の幅が広いといえます。反面、病巣周辺の正常組織に放射線が照射されることによって、放射線障害が発生するリスクや治療効果が出現するまでに時間がかかるという課題があります。

がん放射線療法に携わる看護師はさまざまな状況にある患者さまとご家族のよき理解者となり、患者さまとご家族が治療を完遂できるように根気よく励まし、現象を適切にアセスメントすること

が求められます。がんそのものが患者さまにもたらす苦痛だけでなく、治療が患者さまとご家族に与える影響を理解し、治療によって生じる心理社会的問題や生活の支障に患者さまが自立して対処できるよう支援していきたいと考えています。

（文責：長尾 充子）



ほいくだより

秋から冬にかけて小児病棟はイベントが盛りだくさんでした。

10月になると運動会はできないけれど、病棟はハロウィン一色。「保育の時間」に仮装のマントや帽子を作りました。10月27日のハロウィンお楽しみ会では、大阪府立羽曳野支援学校近畿大学医学部附属病院分教室（以下 分教室）の子ども達が、ずっと練習していたエイサーを踊りました。普段の遊んでいる姿とはまた違った凛々しい姿に会場は拍手喝采でした。

医師・研修医と保育士による「おおきなかぶ」ではなく「おおきなかぼちゃ」の劇はコウモリやドラキュラ、ミイラまで出てき大爆笑でした。



12月に入ると、わくわくーむでは毎日クリスマスソングが流れ、子ども達はサンタさんに何を貰おうかと一生懸命考えていました。「サンタさん、僕が入院してること知ってるかな?」なんて心配する子もいて、お手紙を書いたり、ママに頼んだり、そわそわワクワク・・・。

12月22日にはクリスマス会が開かれ、分教室の子ども達はリコーダーや鉄琴などで合奏をしました。

医師・研修医、保育士からは「あわてんぼうのサンタクロース」の曲に合わせて劇をしました。お医者さんが患者や看護師の役を演じて、普段とは違う姿が面白くて新鮮でした。もちろんサンタさんも登場! プレゼントをもらって記念撮影。なんと24日にも別のサンタさんが風船を持って来て、賑やかなクリスマスになりました。その夜は、病院の枕元にサンタさんが来た子もいれば、おうちに届いている子もいて、プレゼントに囲まれてみんなにっこり・・・。

カノンを演奏してくれたよ!



風船もらったよ!



先生達の劇にダンスに手品まで!!



お部屋で頑張るみんなにもサンタさんが来たよ!

年が明けて、2月3日には病棟にオニが現れました。突然の出来事に泣き叫ぶ子もいれば、笑顔で記念写真を撮る子、果敢に戦いを挑む子などみんな色々！新聞紙で作った豆を投げて、最後にはオニと仲良くなって・・・。
保育の時間にはオニの帽子や豆を入れるカバンも作って、節分を楽しみました。



私はバッチリ、カメラ目線よ

ぎゃあああ〜

ピース!!!

ドキドキ・・・

3月1日はひなまつりお楽しみ会でした。今回は、女の子の節句にちなんで、出演スタッフ全員がアイドルに変身！AKBの曲に合わせて踊ったり、看護師によるバルーンアートや、おひなさまのお勉強をしたり、雛祭りの歌を大合唱しました。分教室のみんなも素敵な合奏を聴かせてくれました。



いい笑顔



看護師バニーとピース



おひなさまについて学習中



はい、チーズ!!!

3月28日には、小児病棟とNICUにキティちゃんが遊びに来てくれました。可愛いドレスを着たキティちゃんが、みんなの病室をまわってタオルのプレゼントと記念撮影をしました。キティちゃんのBGMが流れる中、男の子も女の子もみんな大喜び・・・でも、一番大はしゃぎだったのは、お母さん達やスタッフでした。カメラを片手にみんなでキティちゃんの撮影大会。学童期の子も達は春休みの入院だったけど、1つ楽しい思い出ができたようです。とてもにぎやかな1日になりました。

(文責:京極 恵)



子ども達の手作りで歓迎



寝ているところをサプライズ



ママもにっこり
いい笑顔



いえーい!!!



記念撮影!
嬉しいな〜



キティちゃんに
手作りの花束を
プレゼント



※写真は保護者の了解を得て掲載しています。

特集「院内保育園の紹介」

当保育園「ほすびたきっす☆ふぁーた」は近畿大学医学部附属病院に勤務されている教職員方の乳幼児の保育と子育て支援のため2008年3月1日に開園しました。

保育園名「ふぁーた」の名前の由来はイタリア語で「妖精」という意味です。

現在の園児数は0歳児～3歳児の総勢30名です。

年間行事として夏祭り、運動会、遠足、クリスマス会など行っています。

保育士ひとりひとりが、大切な命をお預かりするという意識を持ち、保護者とともに支えあい、さまざまな経験を通して子どもの育つ力をひき出し、いつも笑顔あふれる保育園であるように努めています。
(文責：田中 優美子)



大阪狭山市の名所めぐり 〈大野ぶどう〉

梅雨の季節となりました。じめじめと雨の降る日が続きますが、梅雨が明けると暑さが厳しい夏がやってきます。夏の代表的な果物といえば・・・「ぶどう」です！！ 実は大阪は全国でも第7位のぶどうの生産量を誇り、特に、デラウェアに限定すると全国第3位の生産量を誇ります。

ここ近畿大学医学部附属病院のある大阪狭山市大野地区は大阪府下でも屈指のぶどうの産地であり、大阪ミュージアム構想の「ベストセレクション食生活部門」に「大野ぶどう」として選ばれるほど有名です。

ぶどうといえば「ポリフェノール」が豊富とい

うことで特に注目されていますが、このポリフェノールには抗酸化作用があり、「老化防止」や「がん予防」の効果があります。この他にも、ぶどうに多く含まれることから名づけられたブドウ糖は、「夏バテ」や「疲労回復」に、カリウム・鉄・亜鉛等のミネラルは、「産前産後の妊婦」の方にお勧めの果物です。また、「花粉症」や「アトピー性皮膚炎」などのアレルギーを抑える効能もあります。

これから旬を迎える「ぶどう」。ぜひ「大野ぶどう」をご賞味いただき、今夏も暑さに負けず、元気いっぱいお過ごしください。

(文責：山口 徳和)



デラウェア



ピオーネ



巨峰

写真提供：中村ぶどう園
(陶器山通り沿い)

■ 近畿大学医学部附属病院と大阪狭山市

近畿大学医学部が創設される場所として、この狭山の地を選んだ当時の話を写真とともに紹介いたします。

昭和40年代、近畿大学医学部附属病院が建っている土地は雑草生い茂る山と谷でした。

医学部創設にあたり、新しい将来に向かっての医学教育と研究を行う医療機関を目指し建設場所を探していましたが、これを満たす場所として、できれば郊外で汚染されていない空気・緑・陽光に満ちた自然に富むのびやかな環境のある場所をと、候補地が絞られていきました。

当時この土地は、交通の便も悪く、疎林とでもいうべき丘陵地帯でしたが地盤や環境の良さ、そして地域医療と医学教育の将来性を見据え、この大阪狭山の地に創設されることが決定しました。

近畿大学医学部附属病院が建てられ30年あまり。

深く雑然とした山林は整地され、青々とした緑あふれる風通しの良い街に、人々の往来も徐々に増えていきました。

建築以前の写真と現在の様子を照らし合わせると、地域の方々のご協力のもと、近畿大学医学部附属病院のあゆみはこの街とともに成長してきたことを改めて実感し、これからも地域医療を支える基幹病院として努めていきたいと思えます。

(文責：井上 純子、烏野 肇之)



■ 中庭のユーティリティスペース

4月から病院棟2階総合待合横の中庭をリニューアルいたしました。

四季の花々が植えられたガーデンにベンチを配置し、
皆さまにくつろいでいただける空間をデザインいたしました。

患者さまとご家族、当院スタッフの
コミュニケーションの場となればと思います。



開放時間

平日 10:00～15:00 (季節により時間変更)

土曜日 10:00～12:45 (季節により時間変更)

- ・天候不順の場合、雨・風・雷など気象情報に準じて閉鎖を決定することもあります。
- ・日曜・祝日は閉鎖となります。
- ・その他施設や運営上閉鎖が妥当と判断される場合も閉鎖となることがあります。

※禁煙となっています。

※飲食禁止となっています。

※ゴミ箱の設置はありません。

※花壇への立入は禁止です。

(文責：井上 純子、烏野 肇之)

卒業生の

今

当院は「教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。」を基本方針の1つとし、医育機関としての役割も担っています。

大学・病院で研鑽され、現在、各方面でご活躍されている卒業生の先生をご紹介します。第1回は昭和58年卒で、富田林市で開業されている久保裕一先生です。



久保 裕一 先生



昭和58年、どうにかこうにか近畿大学医学部を卒業させていただきまして、医者の世界に入りました。私の親を含め、親類にはまったく医者がいなかったので、社会人としてすべてのことを近畿大学で教えてもらいました。私のような出来の悪かった人間を医者として生業させてもらっているのは、何をおいても両親に感謝しなければいけません。やはり卒業後も現在に至るまで、ずっと面倒を見てもらっている近畿大学医学部に感謝、感謝です。

近畿大学卒業後、近大病院一筋で26年間勤務させていただきましたが、やっぱり自分の卒業した大学で働けたこと、少しでも役に立てることが出来たことが一番の幸せでした。学生6年と医者26年と大学での生活が長かったので、多くの先生方と医局の枠を超えたつながり、医療スタッフや病院職員との連携など、開業した現在もおおいに力になっていただいています。

地域医療に携わるにあたり、最大の問題は入院や精密検査が必要な患者さまの問題でしたが、近畿大学病院には患者さまの入院を数多く引き受けていただき、また、患者さまに近畿大学を紹介するときでも、私が主治医の先生を存じ上げていることで、患者さまにも多くの安心感を持っていただけている点ではないかと思っています。

この場を借りて、本当に、長い間、近大病院で働かせてもらって良かったとつくづく感じています。ありがとうございました。また、これからもよろしくお願ひします。



くぼ内科 (内科・呼吸器科・アレルギー科)

富田林市山中田町1-19-16

0721-20-1159

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休診日：日・祝
往診							
17:00~19:00	○	○		○	○		

さやま検定

『さやま検定』とは、大阪狭山市の文化・歴史・現在の状況などの知識を問うご当地検定です。古事記や日本書紀にも登場し、現存する国内最古のダム形式のため池として有名な「狭山池」を有する大阪狭山市への理解を深め、地域を好きになってもらおうと、市民らでつくる「狭山池まつり実行委員会」が主催するご当地検定です。得点に応じて、狭山博士～5級までの認定級が設けられ、合格者には認定証が送られます。過去の問題を紹介しますので挑戦してください。

1 平成24年（2012年）は、大阪狭山市が市になって、何年目になりますか。

- A 15年目
- B 25年目
- C 35年目

2 大阪狭山市の「さやま」という地名には、どのような意味がありますか。

- A 山の名前
- B 山と山に挟まれた眺望のきく土地
- C 丘の名前

3 大阪狭山市の木と花は、どれですか。

- A まつ、さざんか
- B さくら・つつじ
- C うめ・かいどう

4 奈良時代に狭山池を改修した僧は、だれですか。

- A 重源
- B 空海
- C 行基

5 狭山池を1周する周遊路の長さは、どれくらいありますか。

- A 2.85km
- B 3.85km
- C 4.85km

6 大阪狭山市の姉妹都市はどこですか。

- A 釜山（韓国）
- B オレゴン州オンタリオ（アメリカ）
- C オンタリオ州ジェームズタウン（カナダ）

7 東野にある大阪狭山市の斎場で、平成15年度から平成19年度に火葬された動物で、数の多い1位と2位は何ですか。

- A タヌキ（アライグマ）と小鳥
- B タヌキ（アライグマ）とウサギ
- C タヌキ（アライグマ）とイタチ

8 「狭山神社」の祭神はどれですか。

- A 毘沙門天
- B 印色入日子命
- C 天照大神

9 大阪狭山市が生んだ末永雅雄博士は、昭和63年（1988）に何を受賞されましたか。

- A 文化勲章
- B 紫綬褒章
- C 旭日大綬章

10 狭山池は現存する日本最古のため池ですが、いつごろ築造されましたか。

- A 516年ごろ
- B 616年ごろ
- C 716年ごろ

当院では、医療制度の相談、手続きの説明と患者さまやご家族の医療に対する意見や要望をお受けする患者さま相談窓口を設けております。

また、医療福祉相談室にて、ソーシャルワーカーが治療や療養の妨げとなる生活上の不安、心配事等をお聞きし支援いたしております。

患者さま相談窓口

場 所／2階患者支援センター

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 交通事故に関する保険関係の相談
- 高額医療費の相談
- 診療記録等の開示に関する相談
- 公費負担医療制度に関する相談



- ◎生活保護 ◎特定疾患医療制度
- ◎小児慢性特定疾患医療制度
- ◎自立支援医療制度(更正医療、育成医療、精神通院治療)
- ◎労災保険制度 ◎公害医療制度

- その他当院に対する意見・要望

医療・福祉相談室

場 所／2階初診・再診受付横

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 退院に関する相談、経済的問題に対する相談
- 社会保険・福祉制度に関する相談
- 心理的な問題の相談、社会復帰の相談





**ノースモーキング
ホスピタル宣言**

健康維持・増進のために、タバコのない病院を目指します。
皆様のご協力をお願いします。
病院長

院内および敷地内は全面禁煙です。

入院される患者さまには、禁煙に関する同意書を記入して
いただいております。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

《個人情報保護について》

個人情報保護について近畿大学医学部附属病院では患者さまの情報の取り扱いに万全の体制で取り組んでいます。

1. 個人情報の利用目的について当院では、患者さまの個人情報を診療・教育などの目的で利用させていただくことがございます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さまからの同意をいただくことしておりますのでご安心ください。
2. 当院では、患者さまの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

各診療科のご案内

3 F	産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、疼痛制御センター(麻酔科)、形成外科、 歯科口腔外科、東洋医学診療所
2 F	循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、神経内科、 腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、外科(上部消化管、下部消化管、肝胆膵)、 外科(肺)、外科(乳腺内分泌)、外科(小児)、脳神経外科、心臓血管外科、心身医療センター(心療内科)
1 F	整形外科、放射線治療科、放射線診断科

外来受付時間

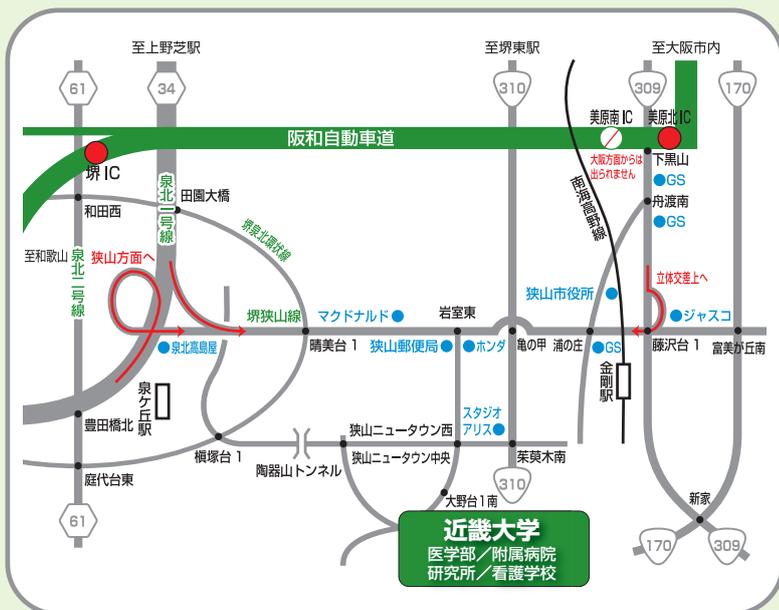
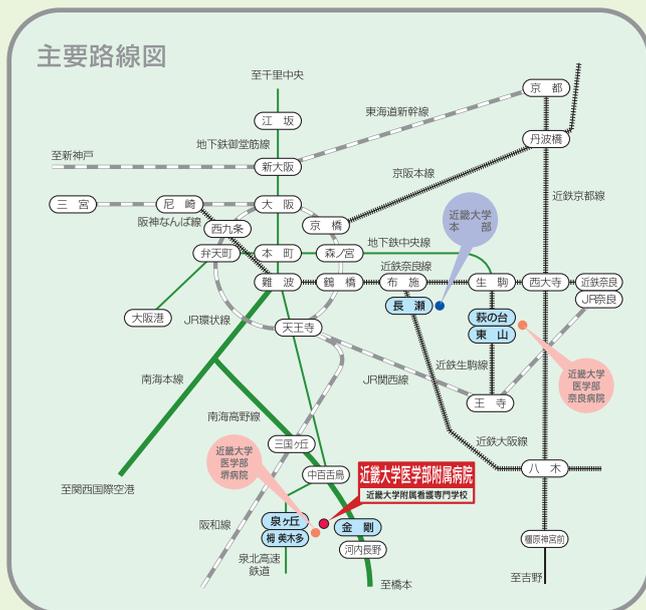
平 日	土 曜	休 診 日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さま 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日 創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日～1月3日)
紹介状をお持ちの患者さま 8時30分～14時00分		

※患者さまが当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、なるべく当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参頂きますようお願いいたします。

※初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として5,250円(消費税込み)をご負担頂きます。

※診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。

アクセス



お知らせ

広報誌「きずな」のバックナンバーは、病院ホームページよりご覧いただけます。

アドレス <http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/>

編集後記

広報誌「きずな Vol.8」をお届けいたします。
 平成21年1月に創刊号を発刊し4年目を迎えることができました。今後とも、皆さまとのつながりを大切にする「きずな」を目指しますのでよろしくお願い申し上げます。病院の知りたい情報やご意見等ございましたらお聞かせ下さいませよう宜しくお願いいたします。

発行日/平成24年6月1日 発行場所/近畿大学医学部附属病院
 編集/広報誌発行委員会 竹村 司